OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	部会ノート
Author(s)	井田, 直美; 朝倉, 新太郎; 庄司, 光 他
Citation	大阪公衆衛生. 1959, 4, p. 26-27
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/84733
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

部会ノート

公衆衛生活動の方向づけ

衛生行政部会

昨年当部会では衛生行政の第1線組織—保健所と市町村の衛生課—の現状を論じてきた．討論したというより幹事らの勉強会にすぎなかったという方が妥当かも知れない．

本年度の計画としては昨年の継続として大都市（大阪市）と小都市・町村の場合を問題として，一応この行政組織の現状把握の勉強に終止符をうちたい．（討論出来なかった面は市町村衛生行政の研究報告で補ってもらう予定）．この継続計画に先がけて第1回研究会として医療保障部会と協同で3月27日発表の医療保障委員の最終報告をとりあげる予定．この報告では公衆衛生のあり方を述べており，特に公衆衛生活動の重点が移行しつつある点と医療保障の円滑なる運営のためには医療と保健予防活動の密接な連携の必要性から医療保障のなかで公衆衛生活動の促進と拡充強化をうたっている．又これに伴って公衆衛生活動の第1線機関である保健所の役割と機構の根本的改革を説いている．勿論これらの考え方には多くの問題点をはらんでいるが，保健所の欠陥を痛く批判した点があり，今後の保健所活動を方向づける一つの指針としてこの部会の研究テーマに取上げた．これにつれて今後の研究の方向もこれらの考え方を中心として出発しなければなるまい．これに続く研究会のテーマとしては第1に医療組織と公衆衛生組織の Regionalization の問題，第2に衛生行政の職制と事業の問題，第3に衛生行政管理（特に監査方法を中心として）業務分析の問題を勉強する予定．

尚本年度は幹事陣も強化して一層の努力を払う覚悟なので，大方の参加を期待する．（井田直美）

医療保障と公衆衛生活動

医療保障部会

前号で予告した医療保障委員の最終報告がいよいよ発表された。正にカナエの沸くが如き議論のうずまきである．曰く，「現実無視の暴論だ」曰く，「医療の官僚支配を企図している」曰く，「開業医撲滅論だ」曰く，「自由主義国家を否定する人民民主主義思想だ」曰く，「医学教育の自由を否定しようとしている」，等々まことに聞き捨てならぬことばかりである．

しかし，報告が物議をかもす最大の理由は，なる程「官僚支配」や「人民民主主義」の危険もあろうが，実は矛盾に矛盾を重ねて来た我国の保健医療組織の陰蔽部分が，たとえ舶来物にしろ相当の名刀で試し切りされた，その痛みに対する反応ではあるまいか．本当の切開手術を「官僚的」にやるか「人民的」にやるかは「官僚」と「人民」の対決によってきまることであり，いづれにしろウミはウミとしてはつきり認識することが先決問題である．部会では6月6日，この問題を俎上に研究会をひらいた．

昨年度本部会がとり上げた Regionalization の問題は，本年度の厚生省の科学研究費の公募課題にも含まれており，上述の医障保障委員の報告にもその思想は散見できる．市町村の衛生課を中心とした業務及び機構，財政の実態調査，開業医の動態分析の資料がととのい次第，行政部会と協同で研究会を開く計画をたてている．

この他，本年度は看護サービスや home help など社会サービスを，どうしたらもっと医療保障の中へ組み入れることが出来るか，という問題の研究も準備にかかりたい．これには衛生看護部会や，保健予防部会の協力を期待している．（朝倉新太郎）

研修活動に重点

環境食品衛生部会

本年度事業の一つとして監視員研修を取り上げているが，その第1回に当る食品衛生監視員研修コースの案が漸く具体化される段階になった．これまでには監視員会からの要望を聞くとともに，研修の考え方，あるいは研修の持ち方などについて監視員会幹部を含めた幹事会を重ね，部会長会議にはかるなど数次に亘り準備会が重ねられた．この研修では単なる基礎講義に終ることなく，監視員自身が事例その他の資料を持ち寄ってセミナーに参加するよう計画されている．又実施についても大阪府，市のみならず，近畿地区合同の計画で行うようになっている．6月に入って各地区の世話人が決まり，更に資料その他の準備を重ね，印刷など終えて実際に研修が開始されるのは8月の予定である．引続いて環監コースの準備を進め年内には実現したいと考えている．

（庄司　光）

あらたに成人病対策

保健予防部会

昨年度，母子・結核・防疫の三部に分れ，活動を進めてきたが，本年度は，新たに成人病部門を加えると共に，多数の方々に各幹事として積極的に活躍を願うこととした．編成は次の通り．

母　子；北田（府医務）　伴（池田）　三木（西成）
　　須山（福島）

結　核；前田，佐々木（府予防）　中条（市予防）
　　松島（吹田）山本（南）

防　疫；藤沢（府環境衛生）西（市予防）　久保田
　　（東住吉）藤田（西淀川）前山（四条畷）
　　平（守口）藤本（阪大）

成人病；中谷（府予防）山田（富田林）竹谷（東成）
　　大和田（天王寺）中馬（住吉）百々（池田）

34年度計画

34年4月22日和虹寮で幹事会を開催，各部門ごとに本年度事業計画を協議した．

母　子

1）未熟児対策：保健所における未熟児対策は昨年来漸く軌道に乗ってきた段階である．現在の未熟児対策における行政上の隘路を明らかにし，その効果を評価しうるよう今後の対策を基礎づけておくことが，当面必要となる．既に市保健所医師会水曜会において未熟児調査が行われているので，府下保健所での調査と合せ集計し，その成績を基礎にして夏には研究会を開催したい．

2）乳ぎらい乳児の実態調査；保健所外来クリニックでの経験によると，夏期人工栄養をきらう乳児が多くみられ，その指導に困難を感じている．こうした事例がどの程度あるか，保健所クリニックにおいて実態調査を行うとともに，何らかの具体的指導法をえたい．既に市大高井教授の指導をえて調査表を作製し，水曜会，府下特定保健所の協同調査として進行しつつある．

結　核

本年度から，結核対策推進地区の特別対策が全国的に行われることになり，患者管理を中心として均衡のとれた結核対策の推進が打出されている．

保健予防部会では既にこの問題は昨年度の討議会で取上げ，特に医師会の公衆衛生活動との関係を重点として患者管理の問題を論じ，大筋の構想を得ることができた．しかし現場において問題となるのはやはり医療機関における患者管理，就中保健婦活動と医療機関の提携の点である．本年度は保健婦活動を中心とした医療機関における患者管理の問題，特にこれからの結核対策の進め方と関連して，地域社会での医療機関に対する働きかけを研究課題として取上げたい．

防　疫

1）昨年度に引続き，〝予防接種実施方法の検討〟を行う．昨年度は実施のための態勢が充分に整備されなかった．本年度は，既に特色ある方法で実施されつつある地区をも含め，さらに広範囲にわたり参加して戴くべく予定している．

なお，百日咳・ジフテリア混合ワクチンを府下の一部で実施したから，なるべく早く副作用の調査成績を紹介してもらう．

2）昨年秋市内小学校での赤痢集団発生は，その規模において稀にみるものであり，また今日までに，こうした危険は一部から指摘されていた．本例について研究会をもち，単に防疫活動面からのみでなく，学校保健と保健所活動との関連，食品衛生監視活動の面からも検討を加えたい．

成人病

近年，心臓病・高血圧などの成人病の対策が各保健所で行われている．成人病対策が将来の公衆衛生活動の一重点となるであろうが，保健所がどのような役割を果すべきかを研究するとともに，そのための準備を具体的に進めたい．本年度は，従来血圧検診などを実施した各保健所での経験を綜合して，今後の指針をえたい．（西　滋夫）

歴史編さんと研修

衛生看護部会

とにかく1年過ぎた．当初の事業予定の大阪に於ける保健婦事業の歴史については感銘深い講演あり，実態調査も曲りなりに結果を得て得る所が大であった．只，地域組織活動に於ける保健婦業務の立場の解明が次年度に継続事業として残されたのは残念である．

1月26日を最初として現在まで数回にわたって幹事会を開催，年報資料或は地域活動調査表作成，或は運動方針の検討などに終始，幹事諸君の御努力には感謝の他はない．又，懸案であった衛生看護部会だよりも近い内におめみえするが，これにより部会活動1年の過去の反省資料とし，又将来の計画の基としたい考えである．

いよいよ新しい年度に突入した．新しい気持で今年こそ飛躍の年にしたい．有資格者全員の入会，部会活動に対する全員の理解と協力を命題としたい．

新年度は種々の計画があるが，特に小冊子「大阪における保健婦の歴史」編纂は全力を投入したい．

又保健婦の研修についても新しい角度から広く資質の向上を期待している．　（八木　明）